



◆9月のCP市場動向

9月末のCP市場残高は21兆9,651億円と前月比で3兆6,017億円減少した。発行市場は、事業法人による四半期末の残高調整大幅な償還超となったものの、電気機器、石油製品、不動産業、小売業、ガス業、卸売業で大型の案件が観測されたことにより、前年同月比では787億円の増加となった。

業種別残高では、一般事業法人は5兆9,703億円（前月比▲2兆8,377億円）、その他金融は10兆7,922億円（同▲8,268億円）と減少した。一方で、ABCPは2兆6,421億円（同+4,139億円）と増加した。入札案件の発行レートについては、利上げへの警戒感から、a-1格相当の銘柄で1か月物は0.50%台前半～0.50%台半ばでの出会い、3か月物が0.60%台半ばから0.70%台前半での出会いとなった。

注：「一般事業法人」＝事業法人からその他金融を除いたもの

【業態別残高内訳】

業 態	9月末残高	8月末残高	増 減
一般事業法人	59,703	88,080	-28,377
その他金融	107,922	116,190	-8,268
金融機関	25,605	29,116	-3,511
政府系金融	0	0	0
銀行等	2,665	3,787	-1,122
証 券	22,940	25,329	-2,389
A B C P	26,421	22,282	4,139
計	219,651	255,668	-36,017

（出所：証券保管振替機構）

【格付け別の発行レート】

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+（一般事業法人）	0.500% ～ 0.560%	0.524% ～ 0.700%	0.600% ～ 0.659%
a-1（一般事業法人）	0.500% ～ 0.650%	0.550% ～ 0.630%	0.599% ～ 0.708%
a-1+（リース銘柄）	0.498% ～ 0.570%	0.535% ～ 0.586%	—— ～ ——
a-1（リース銘柄）	0.505% ～ 0.590%	0.545% ～ 0.630%	0.650% ～ 0.730%
a-2	0.600% ～ ——	—— ～ ——	0.648% ～ 0.700%

«短期社債登録状況»

	7月末	8月末	9月末
登録企業数	550	552	551
増減	1	2	-1

(出所：証券保管振替機構)

«CP現先市場»

現先（S/N）レートは、0.40%台での出会いとなった。

◆10月のCP市場動向

CP発行市場は、例年償還が少ない傾向にあることや、四半期末の残高調整を終えた事業法人の調達再開により、発行超が見込まれる。発行レートは、日銀の利上げ時期を見極める展開が続いており、1 か月物に関しては 0.50%台半ばでの出会い、3 か月物に関しては、0.60%台半ばからレートの上昇余地を探る展開を予想する。

参考資料

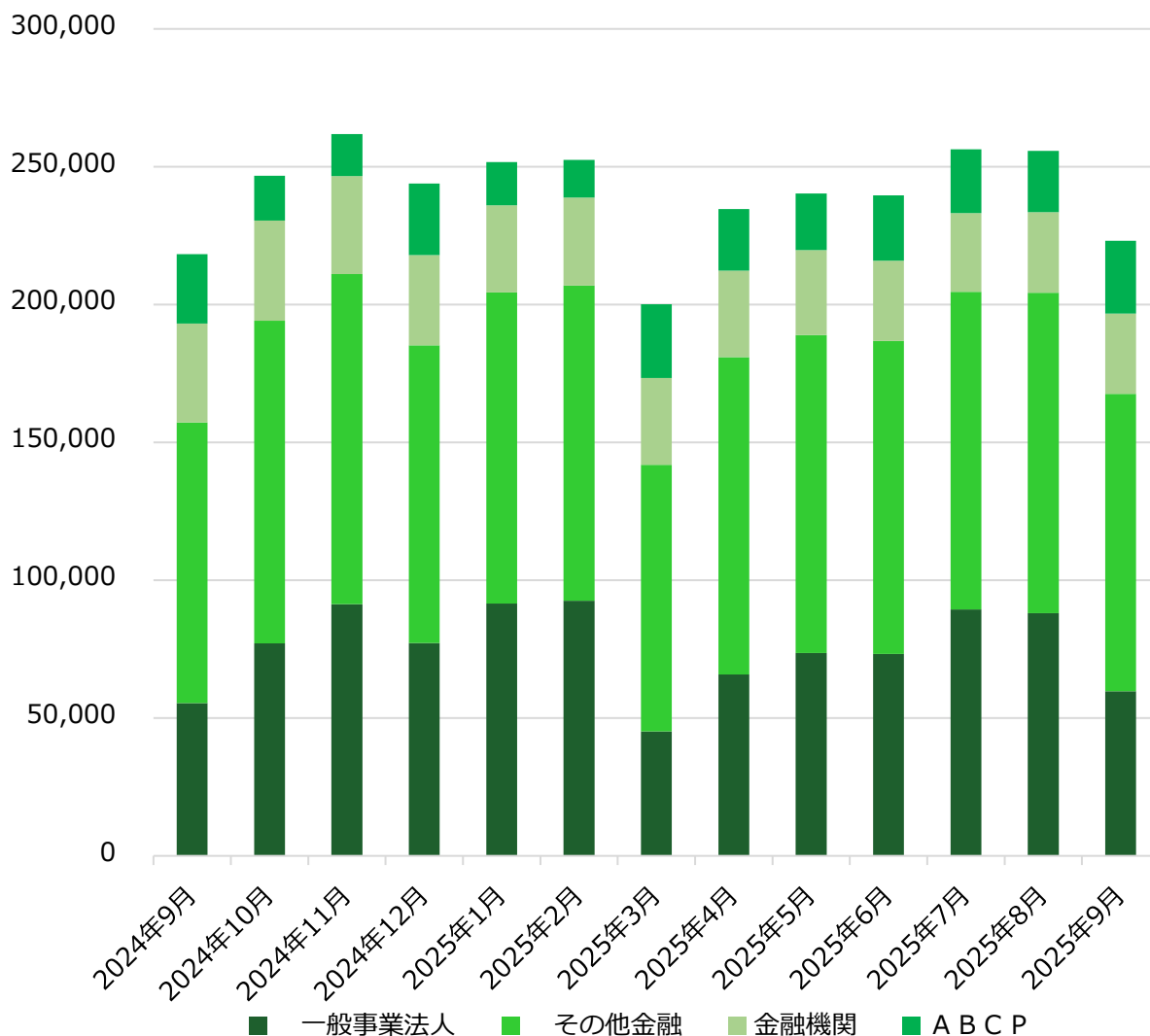
	発行企業名	9月末残高	8月末残高
1	NTTファイナンス	12,930	13,925
2	三菱HCキャピタル	9,375	8,985
3	合同会社AFC	8,796	7,004
4	NTT・TCリース	8,440	8,470
5	三井住友ファイナンス&リース	6,520	7,690
6	みずほリース	5,695	5,760
7	日本証券金融	5,540	3,230
8	コンチエルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,411	5,059
9	三菱UFJニコス	4,800	4,530
10	みずほ証券	4,651	4,831

(出所：証券保管振替機構)

【短期社債市場残高】

(2024年9月～2025年9月)

(単位：億円)



(出所：証券保管振替機構より当社作成)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会